

# 2025年3月期 第3四半期 決算ハイライト

ティアック株式会社  
<https://www.teac.co.jp/jp/>  
証券コード：6803

2025年2月7日

# 2025/03期 Q3累計 業績概要

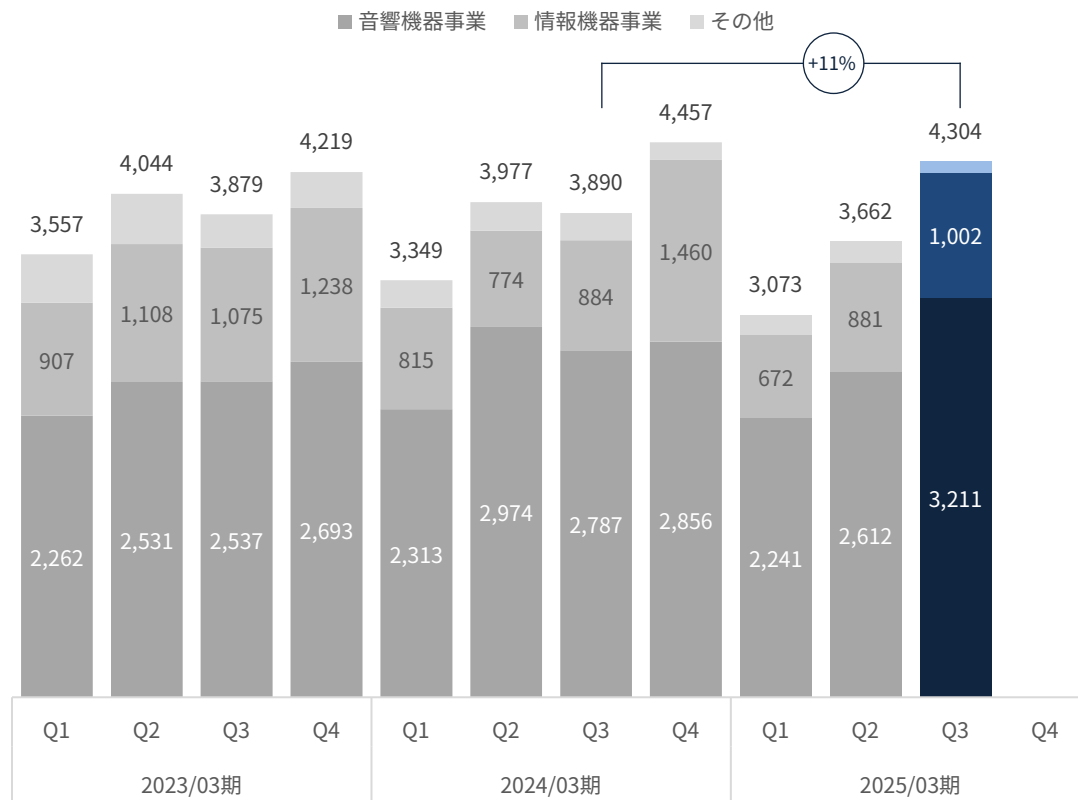
## ■ 2025/03期 第3四半期累計は、前年同期比減収・損失拡大

	2024/03期			2025/03期		前年同期比	(百万円)
	Q3累計	Q1	Q2	Q3	Q3累計		
売上収益	11,215	3,073	3,662	4,304	11,039	△ 176 (△ 1.6%)	• Q3単独は音響機器事業・情報機器事業ともに前年同期比増収も上半期の低迷によりQ3累計としては依然減収
営業利益 (△損失)	101	△ 275	△ 7	198	△ 85	△ 185 (-)	• Q3累計は上半期の減収と原価率の上昇により営業損失を計上、前年同期比減益
税引前利益 (△損失)	△ 178	△ 398	37	18	△ 342	△ 165 (-)	• 117百万円の為替差損が発生、前年同期比損失拡大 - 詳細は「 <a href="#">金融費用(為替差損)の計上に関するお知らせ</a> 」 (2025年2月7日発表)をご参照ください
四半期利益 (△損失)	△ 187	△ 393	49	13	△ 331	△ 144 (-)	• 前年同期比損失拡大
資本合計	3,124				3,392	+ 268 (+ 8.6%)	• 前年同期比増
1株当たり親会社 所有者帰属持分	108.45円				117.76円	+ 9.31円 (+ 8.6%)	• 前年同期比増
自己資本比率	27.0%				28.7%	+ 1.7ppt	• 前年同期比増
フリー キャッシュフロー	△ 44				△ 227	△ 183	• 前年同期比減

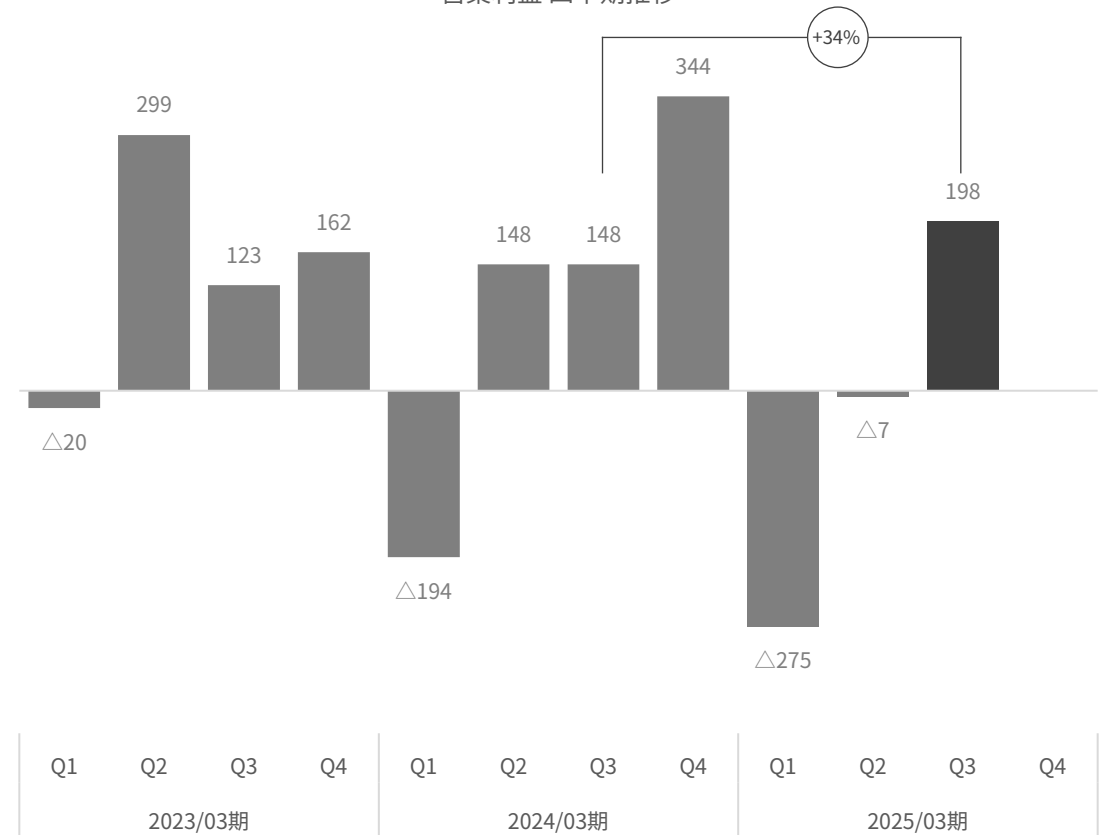
# 2025/03期 Q3単独 セグメント別業績

- Q3単独（10月-12月）売上収益は音響機器事業・情報機器事業ともに前年同期比伸長し、11%の増収
- 営業利益は前年同期比34%の増益

売上収益 四半期推移



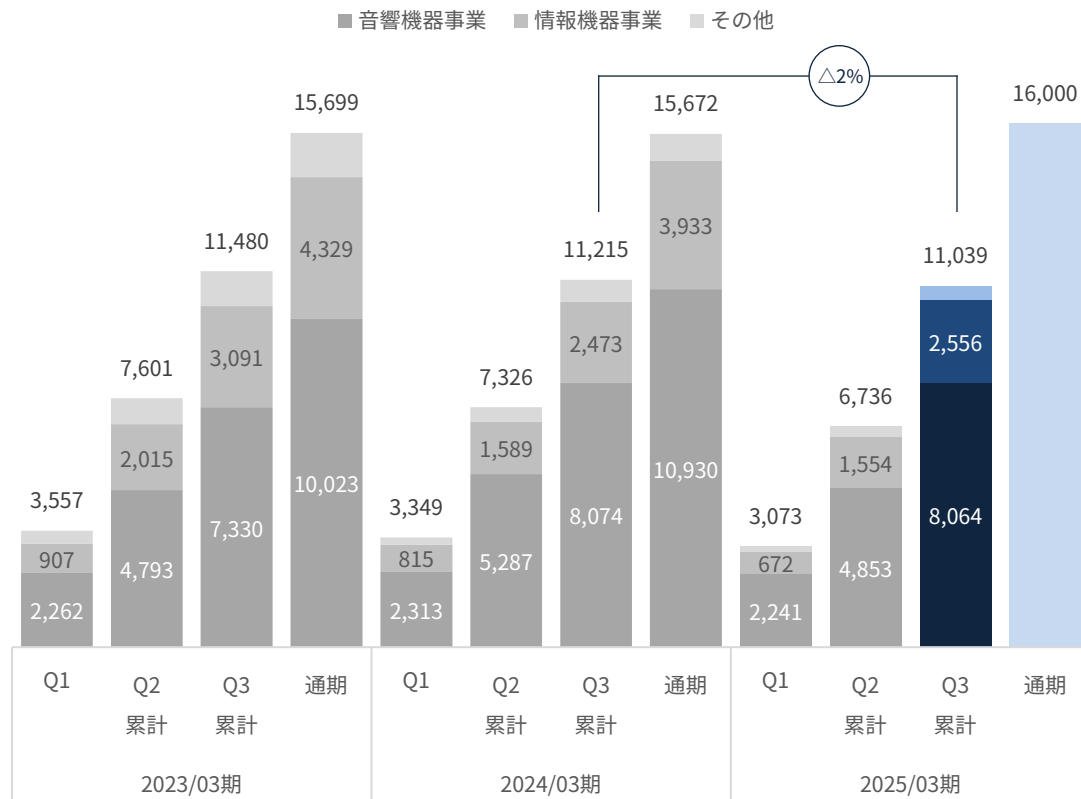
営業利益 四半期推移



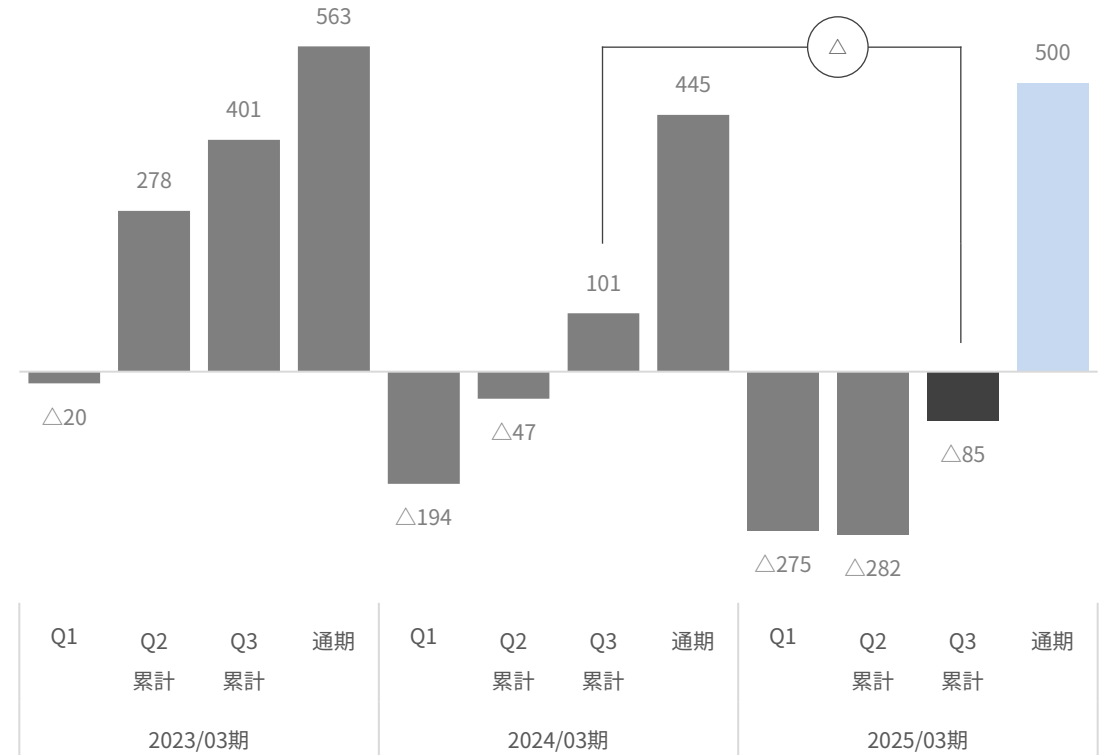
# 2025/03期 Q3累計 セグメント別業績

- Q3累計（4月-12月）売上収益は上半期の低迷の影響が残り、前年同期比2%の減収
- 累計営業利益はQ3に損失圧縮が進んだが、黒字転換に届かず

売上収益 累計



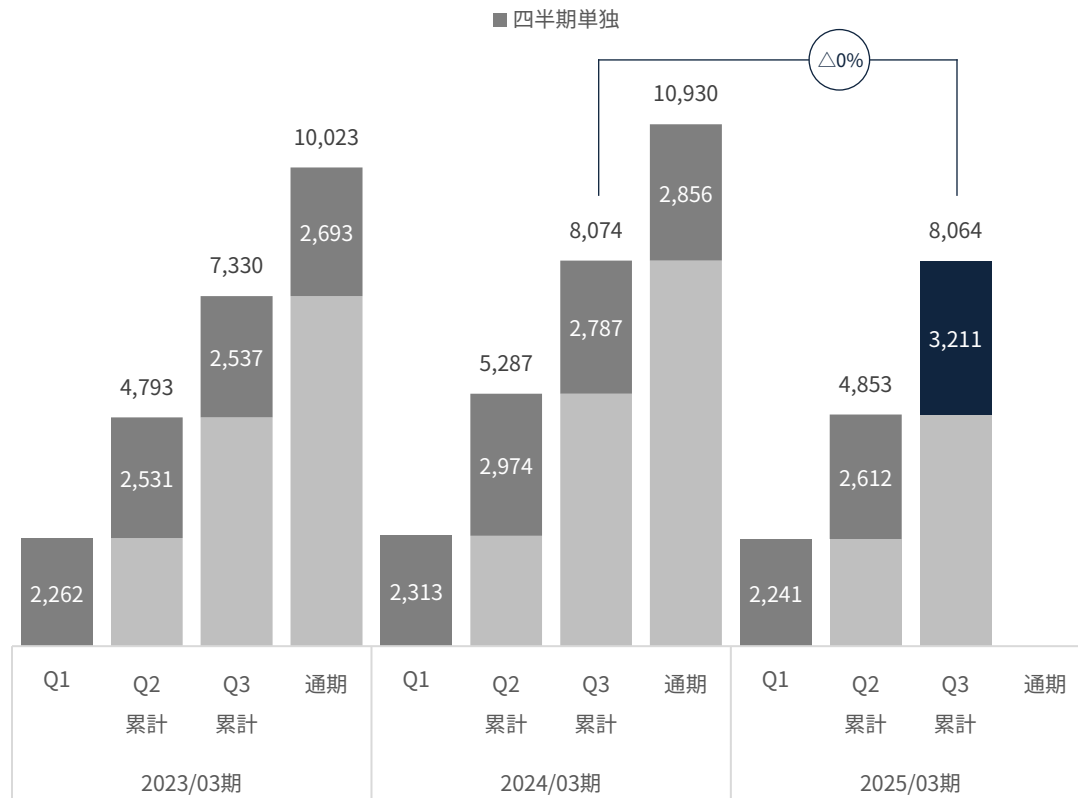
営業利益 累計



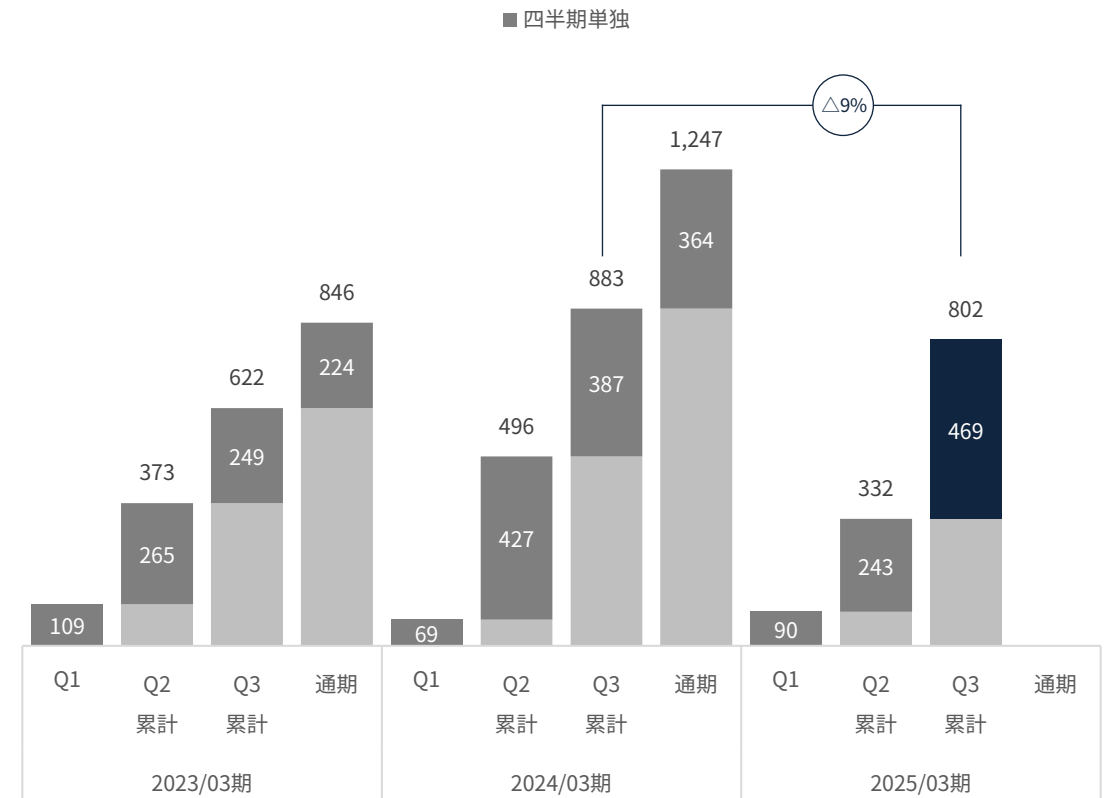
# 2025/03期 Q3累計 音響機器事業業績

- プレミアムオーディオ（ESOTERIC、TEAC）は国内外の販売体制再構築に各国専門誌での受賞が後押しし、特に米国にて大幅伸長
- 業務用オーディオ（TASCAM BtoB）は主力の録音再生機と各種周辺機器に加え業務用ミキサーも国内の需要増で好調。他方音楽制作用オーディオ（TASCAM BtoC）は新製品も好調であったQ3の増収が上半期の低迷分を挽回するに至らず、累計では減収

音響機器事業 売上収益 累計

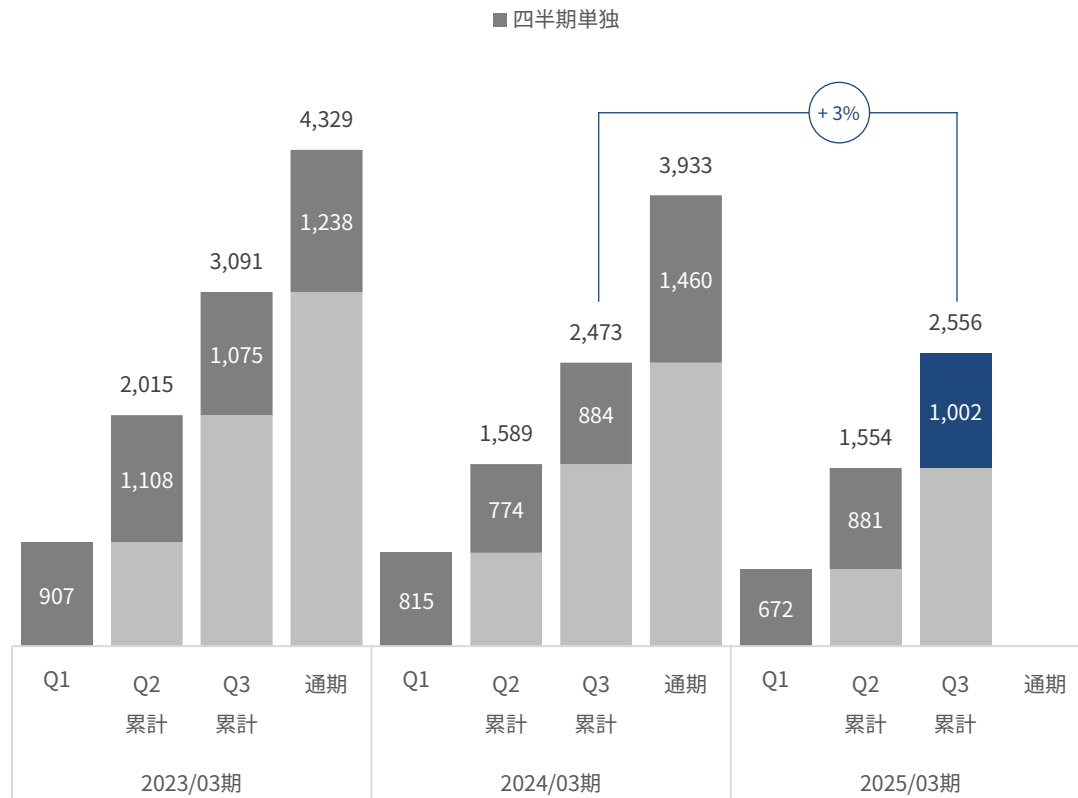


音響機器事業 セグメント利益 累計

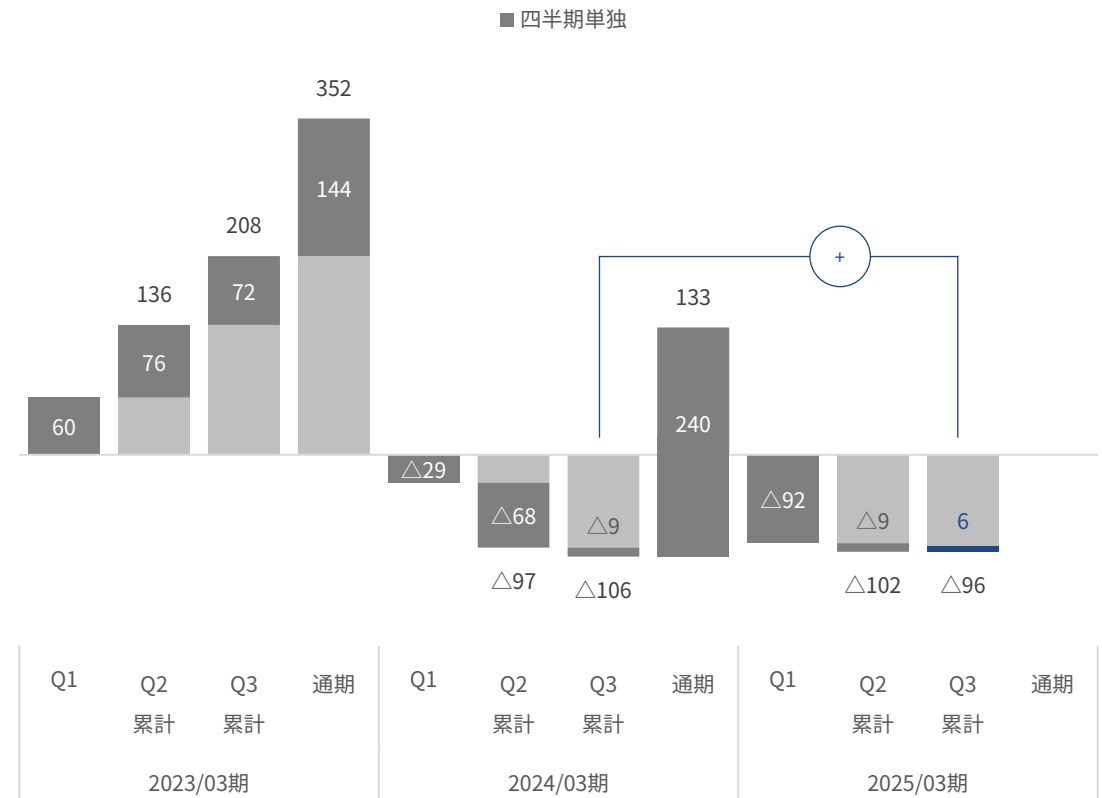


- 計測機器は、データレコーダーが好調の一方、センサーおよびデジタル指示計が半導体製造装置向けで低調
- 医用画像記録再生機器は、国内消化器内視鏡向けレコーダーの回復に加え国内外にて手術画像記録用4Kレコーダーの販売が大幅増
- 機内エンターテインメント用サーバーは、欧州のエアラインへ納入し他地域からの引合いは増加も、大口案件で遅延が発生し減収

情報機器事業 売上収益 累計

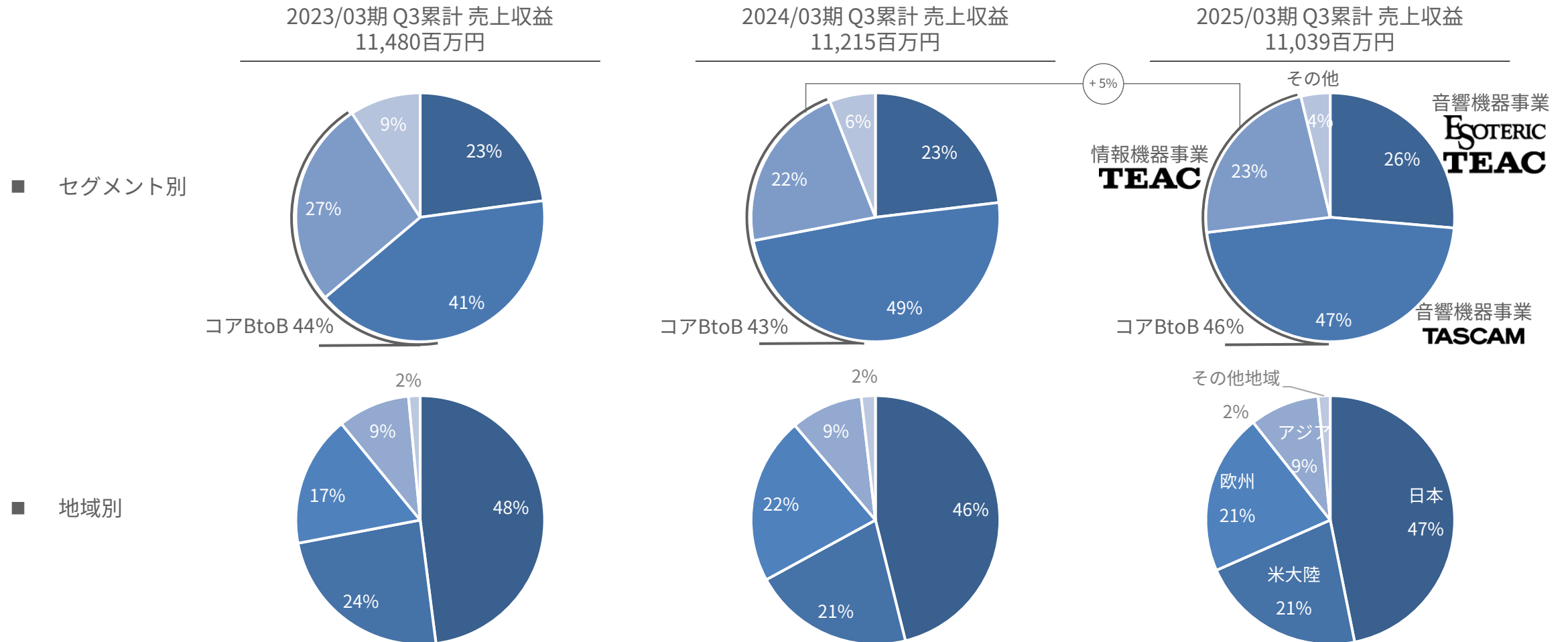


情報機器事業 セグメント利益 累計



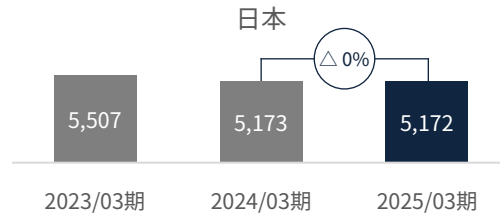
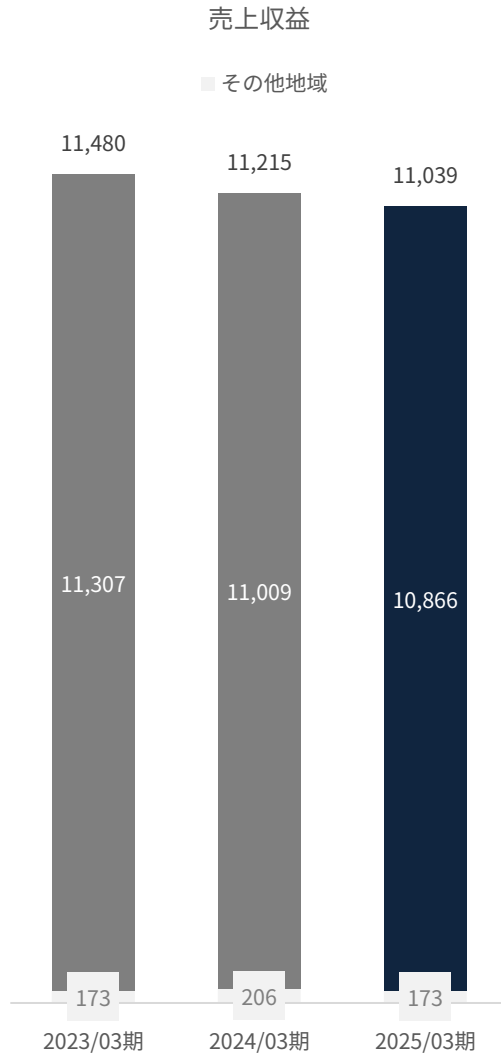
# 2025/03期 Q3累計 セグメント別・地域別構成比

- BtoB事業は前年同期比+5%増収となり、構成比も46%まで拡大。またBtoC事業は好調のプレミアムオーディオの構成比が拡大
- 音楽制作用オーディオが低迷の欧州・米大陸地域は、プレミアムオーディオの伸長により地域構成比に大きな変化無し

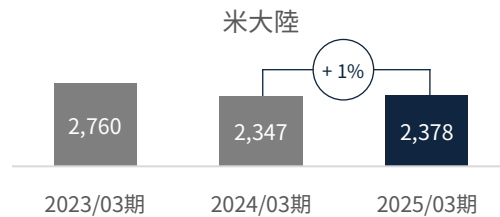


# 2025/03期 Q3累計 地域別業績

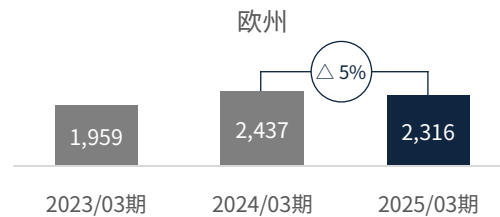
(百万円、+は前年同期比増収、△は同減収)



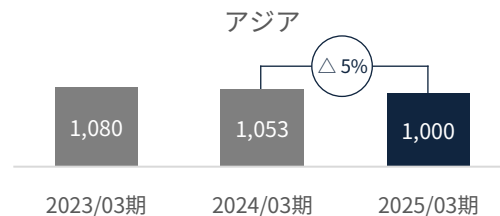
- 音響機器事業
  - + プレミアムオーディオ機器、業務用オーディオ機器 (BtoB)
  - △ 音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)
- 情報機器事業
  - + 医用画像記録再生機器、ソリューションビジネス
  - △ 計測機器、機内エンターテインメント機器



- 音響機器事業
  - + プレミアムオーディオ機器、業務用オーディオ機器 (BtoB)
  - △ 音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)
- 情報機器事業
  - + 計測機器、医用画像記録再生機器
  - △



- 音響機器事業
  - + プレミアムオーディオ機器
  - △ 音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)、業務用オーディオ機器 (BtoB)
- 情報機器事業
  - + 計測機器、医用画像記録再生機器、機内エンターテインメント機器
  - △



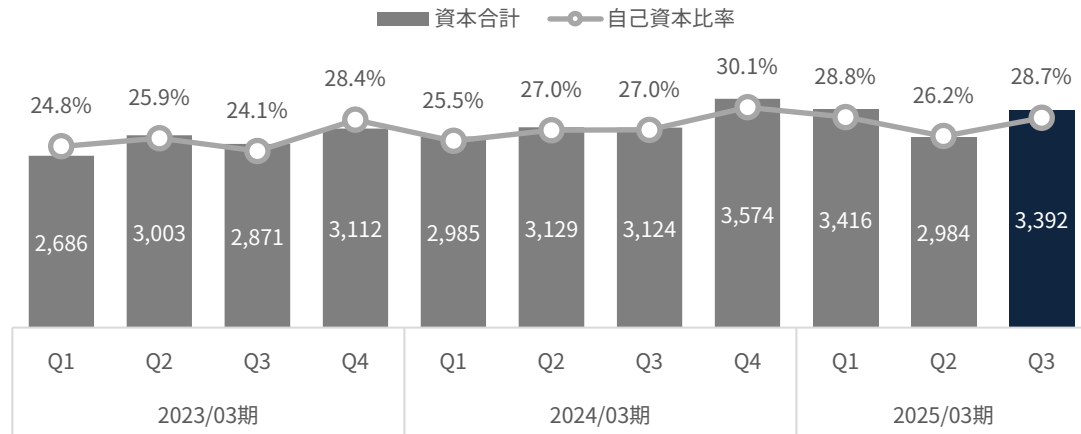
- 音響機器事業
  - + プレミアムオーディオ機器
  - △ 音楽制作用オーディオ機器 (BtoC)、業務用オーディオ機器 (BtoB)
- 情報機器事業
  - + 計測機器、医用画像記録再生機器



# 2025/03期 Q3累計 自己資本比率・フリーキャッシュフロー

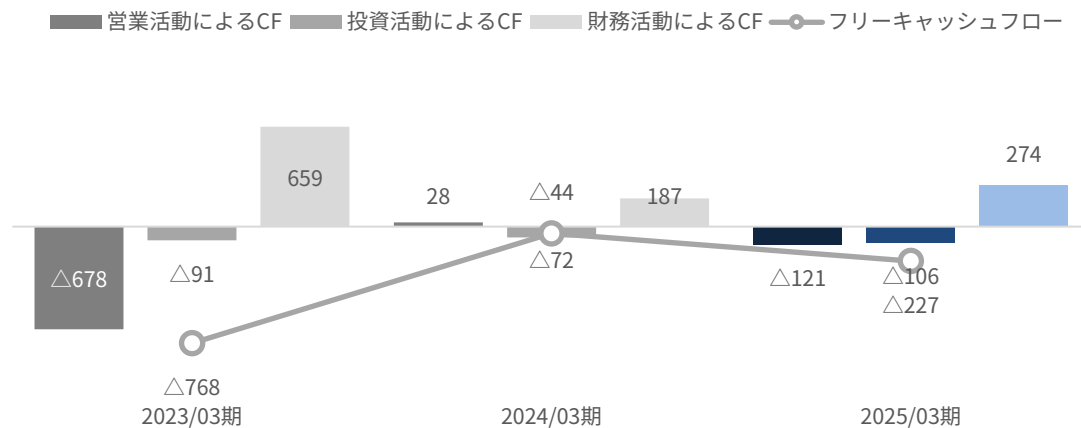
(百万円)

## 自己資本比率



- 資本合計：前年同期比+ 268百万円 (+ 8.6%) 増
- 自己資本比率：前年同期比+ 1.7ppt増

## フリーキャッシュフロー



- フリーキャッシュフロー：前年同期比△ 183百万円減の△ 227百万円。営業キャッシュフローは前年同期比△ 149百万円減の△ 121百万円

■ 2025/03期 通期予想は、前回予想（2024年5月発表）を据え置く

	2024/03期	2025/03期 予想	前期比	(百万円)
売上収益	15,672	16,000	+ 328 (+ 2.1%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社が比較優位性を持つ製品の適宜価格改定と併せ、期初発足の新事業体制の下、更なる戦略製品の導入と事業領域の拡大により増収を計画</li> </ul>
営業利益	445	500	+ 55 (+ 12.4%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフレや投資停滞などのリスクに対応すべく、デジタルとリアル両面でマーケティング投資増を計画</li> </ul>
税引前利益	5	250	+ 245 (-)	<ul style="list-style-type: none"> <li>増益計画</li> </ul>
当期利益（損失）	△ 53	200	+ 253 (-)	<ul style="list-style-type: none"> <li>黒字転換計画</li> </ul>
資本合計	3,574	-	-	
1株当たり親会社 所有者帰属持分	124.08円	-	-	
自己資本比率	30.1%	-	-	
フリー キャッシュフロー	10	-	-	

## ■ 音響機器事業 プレミアムオーディオ機器

- TEAC

ヘッドホン/スピーカーリスニングの世界をさらに広げる純アナログ仕様のヘッドホンアンプ/プリアンプ『HA-507』を新発売



音楽之友社主催のSTEREO誌「ベストバイ・コンポ 2024」にて、『VRDS-701』と『UD-507』が1位を受賞



- ESOTERIC

季刊ステレオサウンド誌主催「ステレオサウンドグランプリ 2024」にて、新発売のGrandiosoシリーズ初のフォノアンプ『Grandioso E1』が最高位の「ゴールデンサウンド賞」を受賞、また、最高峰の一体型Super Audio CD/CDプレーヤー『Grandioso K1X SE』がグランプリ受賞、音楽之友社主催の月刊stereo誌「ベストバイ・コンポ 2024」にて『N-01XD SE』が1位を受賞、『K-05XD』がドイツのオーディオ誌・fairaudio誌の「fairaudio's favourite Award」と英What Hi-Fi?誌の「What Hi-Fi? Awards 2024」にてTemptation Awardを受賞



## ■ 音響機器事業 音楽制作・業務用オーディオ機器

- 『INTER BEE AWARD プロオーディオ部門』で『TASCAM Sonicview』とオプションカード『IF-ST2110』がグランプリ受賞

日本随一の音と映像と通信のプロフェッショナル展である『Inter BEE 2024』で実施された「INTER BEE AWARD」プロオーディオ部門において、SMPTE ST 2110に対応する小型音声卓『TASCAM Sonicviewシリーズ』およびオプションカード『IF-ST2110』をエントリーし、グランプリを受賞

※INTER BEE AWARD（公式ページより）

Inter BEEに出展される製品・技術・サービス・ソフトウェア及びコンテンツ等から、優れた展示案件に対して表彰し内外に発表する「INTER BEE AWARD」を、Inter BEE開催60回を機に実施



- アナログミキサーをデジタルワークステーション化する『Studio Bridge』を新発売

近年の音楽制作環境では、DAWやプラグインソフトウェアによるプラットフォームが主流となる一方で、ビンテージアナログ機器などによる、ハードウェアにしか出せない温かみのあるファットなサウンドを作品に取り入れる需要が年々拡大しています

アナログの質感とデジタルの利便性を両立させた本機を導入することで、レコーディングスタジオを簡潔に構築できます。まさに、アナログトーンをこよなく追求するミュージシャン・クリエイターのためのソリューション機器です



## ■ 情報機器事業 計測機器・医用画像記録再生機器

- ・ 2024年12月に「セミコンジャパン2024」および「第38回内視鏡外科学会総会」に出展

東京ビッグサイトで開催された、半導体製造装置及び材料の国際展示会である「セミコンジャパン2024」に初出展。デジタル指示計やシグナルコンディショナー、ロードセルの現ラインナップに加え、PNP出力に対応したデジタル指示計の新製品「TD-9000T(P)」を出品し、半導体製造工程・基板実装工程における使用事例と共に各製品を紹介

また、マリンメッセ福岡にて開催された、内視鏡外科学に関する学会「第38回日本内視鏡外科学会総会」に出展。当社ブースはレコーダーと手術映像システムによる映像ソリューションを展示



セミコンジャパン2024



日本内視鏡外科学会総会

# 財務データシート (IFRS)

		2023/03期				2024/03期				2025/03期							
		(百万円)	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4			
貸借対照表	流動資産		9,042	9,886	9,259	8,351	9,027	8,930	8,969	9,286	9,302	8,914	9,414				
		現金及び現金同等物	1,353	1,739	1,221	1,196	1,553	1,086	1,369	1,227	1,487	1,347	1,291				
		営業債権及びその他の債権	2,799	2,871	2,809	2,925	2,671	2,938	2,603	3,517	2,480	2,433	2,903				
		棚卸資産	4,566	4,998	4,877	3,862	4,512	4,638	4,662	4,214	5,082	4,925	4,957				
		その他の流動資産	324	278	352	368	291	269	336	328	254	209	263				
		非流動資産	1,804	1,720	2,634	2,607	2,673	2,663	2,593	2,585	2,571	2,490	2,416				
		資産合計	10,845	11,606	11,893	10,958	11,700	11,594	11,562	11,871	11,874	11,404	11,831				
		流動負債	6,266	6,430	6,161	5,316	6,242	6,018	6,249	5,434	6,051	6,265	6,482				
			社債及び借入金	2,904	3,030	2,900	2,042	2,749	2,663	2,965	2,110	2,882	2,985	3,300			
			リース負債	232	164	264	448	519	357	359	367	389	380	386			
			営業債務及びその他の債務	1,759	1,798	1,646	1,281	1,615	1,566	1,571	1,504	1,476	1,412	1,311			
			その他の流動負債	1,371	1,439	1,351	1,544	1,358	1,432	1,354	1,454	1,304	1,488	1,485			
		非流動負債	1,893	2,172	2,861	2,531	2,474	2,446	2,189	2,862	2,406	2,155	1,957				
			社債及び借入金	820	1,189	1,113	1,083	977	829	690	1,478	1,142	1,007	926			
			リース負債	64	42	870	685	790	913	849	792	710	634	555			
			長期未払金	833	793	729	689	622	626	573	511	472	428	386			
			その他の非流動負債	177	149	149	75	86	79	78	81	82	86	90			
	負債合計	8,160	8,603	9,022	7,847	8,715	8,465	8,439	8,297	8,458	8,421	8,439					
	資本合計	2,686	3,003	2,871	3,112	2,985	3,129	3,124	3,574	3,416	2,984	3,392					
		親会社の所有者に帰属する持分合計	2,686	3,003	2,871	3,112	2,985	3,129	3,124	3,574	3,416	2,984	3,392				
		非支配持分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	負債及び資本合計	10,845	11,606	11,893	10,958	11,700	11,594	11,562	11,871	11,874	11,404	11,831					
	親会社所有者帰属持分比率	24.8%	25.9%	24.1%	28.4%	25.5%	27.0%	27.0%	30.1%	28.8%	26.2%	28.7%					
損益計算書	売上収益		3,557	4,044	3,879	4,219	15,699	3,349	3,977	3,890	4,457	15,672	3,073	3,662	4,304	11,039	
		音響機器事業	2,262	2,531	2,537	2,693	10,023	2,313	2,974	2,787	2,856	10,930	2,241	2,612	3,211	8,064	
		情報機器事業	907	1,108	1,075	1,238	4,329	815	774	884	1,460	3,933	672	881	1,002	2,556	
		その他	388	405	267	288	1,347	221	229	218	141	809	160	169	90	419	
		セグメント利益	226	485	345	398	1,453	75	385	384	584	1,427	13	251	455	719	
			音響機器事業	109	265	249	224	846	69	427	387	364	1,247	90	243	469	802
			情報機器事業	60	76	72	144	352	△ 29	△ 68	△ 9	240	133	△ 92	△ 9	6	△ 96
			その他	57	144	24	30	255	35	26	6	△ 20	47	16	17	△ 20	13
		個別開示項目前営業利益	△ 20	299	123	162	563	△ 194	148	148	344	445	△ 275	△ 7	198	△ 85	
		個別開示項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		営業利益	△ 20	299	123	162	563	△ 194	148	148	344	445	△ 275	△ 7	198	△ 85	
		税引前利益	△ 104	138	182	126	341	△ 389	32	179	183	5	△ 398	37	18	△ 342	
		親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 109	140	150	124	305	△ 400	32	181	134	△ 53	△ 393	49	13	△ 331	
	キャッシュフロー	営業活動によるキャッシュフロー	△ 485	11	△ 204	972	294	△ 113	△ 98	239	88	116	0	104	△ 226	△ 121	
		投資活動によるキャッシュフロー	△ 23	△ 38	△ 29	△ 12	△ 102	△ 36	△ 18	△ 17	△ 34	△ 106	△ 54	△ 31	△ 20	△ 106	
		財務活動によるキャッシュフロー	550	352	△ 242	△ 992	△ 333	446	△ 349	90	△ 256	△ 69	284	△ 134	124	274	
		フリーキャッシュフロー	△ 508	△ 27	△ 233	960	192	△ 149	△ 116	222	54	10	△ 54	73	△ 247	△ 227	

この資料に記載されている記述のうち、将来見通しに関する記述は、当社の現時点での入手可能な情報に基づいている為、既知または未知のリスクおよびその他の不確定要因が内在しており、実際の業績はこれらの業績見通しと大幅に異なる可能性があります。実際の業績に対し影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、主要市場（日本、北米、欧州、アジアなど）の経済状況・需要動向、同市場における貿易規制等各種規制、ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、部品・原材料の供給、物流網の安定性、急激な技術変化、などがありますが、業績に影響を与えうる要素としてはこれらに限るものではありません。